



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2025

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 田中 健志
幹 事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents

「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

「ロータリー雑誌月間」

2011年4月21日 第2001回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



先週は第2,000回目の例会を夜間例会に変更しました。第500回・1,000回・1,500回例会当時の会長及びその直近に入会された会員から、当時の思い出を語っていただきました。

それぞれ大変有意義な卓話であり、会報に載せようとしたのですが、紙面の関係上割愛させていただきました。申し訳ございませんでした。

本日は広島東RCの新会員の方々が、他クラブの例会を経験するため出席されています。どうぞゆっくりと当クラブの例会をお過ごしください。私は平成5年に当クラブに入会しました。入会して初めてのメイクアップは広島東RCでした。広島東RCの当時の会長は故古川浩司さんで、会長時間で、「メイクアップの人の食い逃げは許しません。食事だけで退席する人は、各クラブの会長に連絡します。」とおっしゃいました。古川さん流のジョークだったのでしょうが、入会間際の私は緊張し、食事後退席できずに最後まで着席していたことを思い出します。

さて本日は今年度4回目の100万ドルの食事です。ANAホテルさんのご協力を得て、一人分の食事代を580円値下げしていただいて、1回当たり約45,000円、年間20万円程度をロータリー財団に寄付しております。

次は東日本大震災に関連するお話しです。

2710地区での義援金が現在約4600万円集まっているそうです。第1回目は260万円分の作業着を中心とした物資を現地に輸送し、3,700万円をガバナー会に送金済みです。4月25日の全国ガバナー会で配分について決定されるそうです。今年度末を区切りとして、募金の継続を地区内に要請されています。

台南RCとの義援金は以前もお話しましたが、2009年8月8日の台湾での災害時に当クラブから208,000円の義援金を台南RCに送りました。台南RCはマッチンググラントとして総額約6万ドルの事業をされ、その折の義援金に対する感謝状を今年2月に受取ったことは皆様既にご承知のことと存じます。

台南RCから先週の金曜日に、この度の東日本大震災に対する義援金として60万円振り込まれました。こちらから送った金額の20万円に対して、この度は60万円振り込まれ、この金額に当惑しています。台南RCが姉妹縁組をしている、日本の他のクラブに手紙を送り、今回の台南RCからの義援金に対する各クラブの対応を調査しています。京都東RCからは既に回答を頂きました。2009年に200万円の義援金を送られたそうですが、今回同額の200万円が台南RCから振り込まれ、この200万円は独自での事業を検討されとのことでした。

井原会長エレクトが、次年度の事業として、RI7720地区アメリカノースカロライナ州のパス

トガバナーで現在地区財団委員長のボブ・マニング氏と、東日本大震災を対象としたマッチンググラントの可能性を検討する為に、連絡を取り合っておられます。先方からの昨日のメールによると、たまたま2日前の4月19日にノースカロライナ州の州都の近くで、数時間に90以上の竜巻が起こり、何百という建物が壊され、30人が死亡されたそうです。その経験からも、3月11日の東日本大震災の災害は、想像を絶する規模であり、日本で引き受けてくれるクラブがあれば、2万ドルを地区として是非とも支援し、マッチンググラントとしたいので、もっと詳細な情報が欲しいということです。

台南RCからいただいた義援金で、有意義な事業を行えればと思っています。

● 会務報告 金本幹事

※例会臨時変更

5月2日(月) 広島東南RC・広島中央RC・広島廿日市RC 休会

5月6日(金) 広島南RC・広島城南RC 休会

5月9日(月) 広島廿日市RC 5月13日夜間例会に変更

5月17日(火) 広島西南RC 5月13日職場訪問例会に変更

5月30日(月) 広島中央RC 夜間例会に変更

※例会終了後、4階「カメラ」において第5回クラブ協議会を開催いたしますので、理事役員委員長は出席願います。

※本日は100万ドルの食事です。

● 委員会報告

出席報告 森脇副委員長

本日(4月21日・木曜日)

会員数 83名 出席者 71名

欠席者 12名 ご来客 5名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 77名

前々回(4月7日・木曜日)

出席率 100%



● スマイルボックス SAA 小田委員

😊 山本靖雄君(自主申告) 大枚

4月10日の県議会議員選挙で皆さんの強力なご支援により7期目の当選をさせていただきました。誠に有難うございました。これからも広島県の発展のために全力を尽くします。

😊 篁宣之君(自主申告) 大枚

4月15日に初孫が誕生し「おじいさん」の仲間入りをしました。娘3人ですが、孫も女の子で

した。初孫の健やかな成長を祈って出宝します。

😊 諏訪昭登君(自主申告) 金一封

きょう4月21日の例会日は、私たち夫婦の結婚53周年の記念日に当たります。ガバナーという身にあまる重責を果たす中で妻博子にも随分負担をかけましたが、よくサポートしてくれたことに感謝しております。偶然の一致をともに喜び、スマイルボックスへ出宝します。

😊 梶川博君(自主申告) トリプル

先日、タクシー内にケータイ電話を置き忘れましたが、わがクラブメンバーのおかげで速やかに手もとに戻ってきました。感謝、感激です。有難うございました。

😊 森信秀樹君(4月21日 広島経済レポート)

森信建設㈱では来年1月を目途に賃貸マンションをグループホームに改修して介護施設運営を始められるそうです。1階の「そうだん館」を地域イベントなどに解放して高齢者や家族の交流拠点にするとのこと。ますますのご発展を祈ります。

😊 全員出宝

前回の例会は、2000回記念の夜間例会でした。2000回の歴史と伝統を祝い、さらに次の2500回記念例会に向けて、ともに頑張っていくことを誓って全員出宝をお願いいたします。

■ 卓 話



これからの 社会資本 整備について

広島県土木局長

高垣 広徳氏

<プロフィール>

高垣 広徳(たかがき ひろのり) 略歴

○広島県尾道市出身 昭和28年 9月23日生

○昭和51年 3月 大阪大学工学部卒

○平成 9年 3月 中央大学法学部卒

□昭和51年 4月 広島県採用 三次土木建築事務所勤務

昭和53年 4月 土木建築部付(本州四国連絡橋公団出向)

...

平成 2年 4月 東京事務所 都市課長

平成 4年 4月 東京事務所 土木課長

平成 5年 4月 土木建築部 都市局 都市計画課 地域計画係長

平成 5年11月 総務部 秘書広報課 専門員

- 平成 6年 4月 総務部 秘書課 専門員
 平成 7年 4月 総務部 秘書課 秘書係長
 平成 8年 4月 総務部 秘書課 主査(兼)秘書係長
 平成10年 4月 総務部 秘書課 課長補佐
 平成11年 4月 土木建築部 道路建設課 課長補佐
 平成13年 4月 土木建築部 道路総室 道路企画室 事業調整監
 平成14年 4月 東広島地域事務所 建設局次長
 平成16年 4月 土木建築部 技術管理総室 技術調整室長
 平成18年 4月 福山地域事務所 建設局長
 平成19年 4月 土木部 土木整備局長
 平成20年 4月 土木局 土木整備部長
 平成21年 4月 土木局技監
 平成22年 4月 土木局長(現在)
- ◆座右の銘 「着々寸心 洋々万里」
 ◆信 条 「天網恢々疎にして漏らさず」
 ◆好きな本 東洋思想関係(論語、孟子など)、マクロ経済学(小野善康など)
 ◆スポーツ 学生時代は合気道、現在はゴルフ
 ◆趣 味 四国遍路、果樹・野菜栽培
 ◆家 族 妻と3人の娘
 ◆そ の 他 お酒は何でも嗜む。タバコは止めている。
 健康法として1日2万歩のウォーキング目標。

「コンクリートから人へ」のスローガンは、長年社会資本整備にかかわってきたものにとって衝撃的なキャッチフレーズであった。日本の経済を豊かにし、地域格差をなくし、生活の質を高め、環境の質を高めること、これらの課題解決のため新幹線や高速道路、空港や港湾など土木インフラが社会資本として整備されてきたが、社会資本整備はもう終わったかのようなスローガンのもと公共事業費が削減されている。こうした中、もう一度社会資本の役割や重要性を考える必要があるのではないか。

本年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、一瞬にして街が消えてしまうなど未曾有の大災害となった。広島は地震の少ないところと言われるが、西日本全域に被害が及ぶとされる東南海・南海地震の発生が懸念されており、その対策の重要性は高まっている。また、近年の気候変動による大雨に対しての備えはどうだろうか。昨年7月に庄原市を襲った集中豪雨など大雨の発生回数は増加傾向にあり、短時間に激しく降る雨に対

し被害を軽減するための対策は重要である。ひとたび災害が起これば、その被害額は大きく、事前に対策を行った場合の費用を超えることも多い。災害は忘れた頃にやってくると言われるが、最近では、忘れないうちにやってくるのである。

2050年には日本の人口は1億人を割り、4割が65歳以上になると予測されており、広島県においても、20年後には33万人も減少し、3分の1が65歳以上になると見込まれている。また、外国との人やモノの動きがさらに活発化し、グローバル化が進展するなど社会環境が大きく変化する時代にあつて必要な社会資本は、今とは違ったものになるかもしれない。

これまでの社会資本整備により、道路の整備水準は、他の先進諸国と比較して極めて高いレベルにあるとよく言われるが、自動車の保有台数などの観点から比較すると、高速道路などの整備水準は他の先進諸国と比べて決して高くはなく、むしろ整備が遅れているとも言える。また、島国である日本は、貿易のほとんどを「港」を通して行っている。以前は、機能していた日本の港も、近年、輸送の効率化を図るために大型化された船舶を受け入れるには、十分とは言えない状況となっている。中国や韓国等のアジア各国においては、国を挙げて大型船舶の利用を前提とした港湾開発などを行っており、産業の国際競争力を支え資源を安定的かつ安価に供給するためには、大型船舶に対応した港の再開発が必要なのである。

今後も様々なニーズに対応した社会資本の整備が必要である一方、これまで整備してきた社会資本も膨大な量となっている。高度成長期に大量に整備された社会資本は、建設後50年以上が経過し、施設の老朽化対策・機能の更新が必要な時代に入っており、業費が削減され続け、必要なメンテナンスや更新ができない事態になれば、社会生活や経済活動に多大な影響を与えることは明白である。そのような事態に陥らないために、施設の長寿命化など適切な維持管理・更新を実施するとともに必要な公共事業費を確保することが重要である。

厳しい社会経済状況が続いているが、いつの時代にあつても国力維持のために社会資本整備は必要なものなのである。我々は、必要な社会資本をしっかりとしたビジョンに基づき着実に実施していかなければならない。

● 卓話予告

日 時	卓 話
5/12(木)	日本銀行広島支店長 米谷 達哉氏